



「虔(つつしみ) 賢(かしこく) 健(すこやかに)」

学校教育目標 『ふるさと・人・命』を大切にし、夢や目標に向かい粘り強く努力する児童の育成
水俣第一小学校長 田村 紀広

1 学期を締めくくるにあたって



図書室前に、七夕飾りが設置されています。子供たちが願いを書いた短冊が、きれいに飾られています。

「水泳が上手になりますように」「漢字が書けるようになりたい」といった願い事のほかに「コロナがなくなりますように」といった短冊も見受けられます。子供たちだけでなく私たちも、早く通常の生活に戻りたいと願っています。

さて、1学期も残り1カ月を切りました。今年度もコロナ禍でのスタートとなりましたが、そのような状況にあっても、子供たちは毎日元気に登校し、勉強や運動に精一杯頑張っています。

前号でもお伝えしたとおり、学校では子供たちの学力向上に向け、日々の授業や3ケンタイムで学習したことが確実に定着するよう様々な取組を進めています。1学期に学んだことを全員ができるようになって夏休みを迎えさせたいと思います。

また、落ち着いた環境で学習できるよう「廊下を走らない」「心のこもったあいさつをする」など、生活面でも児童会と一緒に取り組んでいます。まだまだ廊下を走る足音が聞こえますが、子供同士で注意し合う姿もよく見かけるようになりました。プロジェクト委員のあいさつ運動でも、少しずつ挨拶を返してくれる子供も増えてきている、という報告もありました。子供たちの意識も変わっており、とてもうれしく思っています。1学期を締めくくるにあたり、一歩改善していきたいと思えます。

7月9日(土)に予定している授業参観では、成長した子供たちの学習の様子、生活態度などに是非注目してください。

マスクの着用について

マ・メールやホームページでもお伝えしていますが、子供たちの学校でのマスク着用について改めてお知らせします。

厚生労働省と文部科学省からのリーフレットにもあるように、本校でも熱中症対策のため次のように対応しています。

1 マスクを外す場面

- 登下校の時
- 体育の授業(屋内・屋外・プール)
- 校外(屋外)学習
- ※ただし、人との距離が確保できる場合や近距離での会話をしない場合に限りです。

2 基本的にはマスクを着ける場面

- 教室内での授業や活動
- スクールバスの中

マスクの着脱については、熱中症対策及び感染症対策を十分行った上で、適切に指導していきます。なお、いずれの場面においても、マスクの着脱は強制ではありません。

ご家庭でも、特に登下校の際のマスクの着脱について、子供たちと話し合っていたいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールについて

本校は平成25年度からコミュニティ・スクールとして取り組んできました。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

先日、コミュニティ・スクールの取組の1つである学校運営協議会を地域の代表の方々にお集まりいただき開催しました。地域の皆様の一小に対する期待の大きさを改めて実感するとともに、子供たちの力をさらに伸ばすよう、地域、保護者の皆様にも協力いただきながら取り組んでいかなければならないと思えました。

また、災害への対応、熱中症対策、水難事故や交通事故の防止など子供たちの命を守るような取組の強化についても多くのご意見をいただきました。子供たちが安心安全に学校生活を送れるようしっかり指導してまいります。